

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	橋本真奈美
連絡先メールアドレス	manami-h@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	准教授
所属	看護福祉学部 社会福祉学科
略歴	<p>(学歴)</p> <p>熊本学園大学 社会福祉学部社会福祉科卒業</p> <p>熊本学園大学大学院 社会福祉学研究科修士課程（社会福祉学専攻）修了</p> <p>熊本学園大学大学院 社会福祉学研究科社会福祉学専攻博士後期課程単位取得満期退学</p> <p>熊本学園大学大学院 社会福祉学研究科社会福祉学専攻博士後期課程博士論文認定</p> <p>(職歴)</p> <p>2008年 熊本学園大学しょうがい学生支援室 嘱託コーディネーター従事</p> <p>2009年 熊本社会福祉専門学校社会福祉科 専任講師</p> <p>2013年 九州看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科 専任講師</p> <p>2019年 九州看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科 准教授</p>
取得学位	修士（社会福祉学）、博士（社会福祉学・熊本学園大学、2013年）
担当科目	<p>児童・家庭福祉論</p> <p>家族福祉論</p> <p>就労支援サービス論</p> <p>相談援助演習Ⅴ</p> <p>相談援助実習指導Ⅰ・Ⅱ</p> <p>相談援助実習</p> <p>卒業研究論文</p>
専門分野	障害学、社会福祉学（こども家庭福祉、障害児者福祉）、
所属学会	日本社会福祉学会、障害学会、日本社会福祉士会
現在の研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の自立生活を可能にする主体形成とライフヒストリーとの関連性に関する研究 ・発達障害者当事者会にみるソーシャルキャピタルの醸成と活動への影響について ・児童養護施設にみる地域小規模化への動向と問題点の抽出
教育研究業績 (著書・学術論文等)	<p>【著作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(共著)『介護福祉士養成講座2 社会の理解 第2版』2022年 中央法規出版. ・(共著)『介護福祉士養成講座2 社会の理解』2019年 中央法規出版. ・(単著)『「社会モデル」による新たな障害者介助制度の構築 — 障害者のエンパワメントを実現するために』2014年 明石書店. ・(共著)『共生の障害学』2012年 明石書店

	<p>執筆担当：第3章「障害者介助にみる『社会モデル』の可能性－障害者が介助を利用するときの呼びかけと応答の関係」。</p> <p>【学術論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>橋本真奈美</u>、隈 直子、田島 望「コロナ禍における相談援助実習代替学内実習の成果と問題点」九州看護福祉大学紀要 22 巻 1 号,84-91,2022 ・ (単著) 橋本真奈美「社会的養護における子どもの意見表明権とソーシャルワーカー」2021 年.九州ソーシャルワーク学会,『九州ジャーナル オブ ソーシャルワーク』(4). 掲載予定 ・ (単著) Manami Hashimoto 「The Importance of Social Capital from the Perspective of the Activities of a Developmental Disorder Support Group」2020 年.九州ソーシャルワーク学会,『九州ジャーナル オブ ソーシャルワーク』(3). ・ (単著) 橋本真奈美「重度障害者に対する介護における関係性と感情労働」、2017 年.九州ソーシャルワーク学会,『九州ジャーナル オブ ソーシャルワーク』(1). ・ (単著) 橋本真奈美「障害者の地域自立生活を実現する介助保障のあり方に関する研究」(熊本学園大学大学院社会福祉学研究科博士学位論文) 2013 年. ・ (単著) 橋本真奈美「自立生活障害者の地域生活を支えるヘルパーに求められる障害者観 — ヘルパーがもつ可能性と困難・『社会モデル』と『医学モデル』」2007 年 熊本学園大学社会関係学会『社会関係研究』第 13 巻第 1 号. ・ (単著) 橋本真奈美「自立障害者と介助者の関係性についての一考察 創成期から現在までの、求められる役割とその本質」2007 年 熊本学園大学社会関係学会『社会関係研究』第 12 巻第 2 号. ・ (単著) 橋本真奈美「自立生活障害者が求める『介護』とは」2005 年 熊本学園大学論集『総合科学』第 12 巻第 1 号. <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 科研費 (2020年採択) : 基盤研究(C) 分担研究 「障害者の自立生活を可能にする主体形成とライフヒストリーとの関連性に関する研究」
<p>社会活動・社会貢献</p>	<p>【社会貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害学会 理事 事務局長 (2020 年 3 月まで) ・ 熊本県社会福祉士会「ぱあとなあ」会員として成年後見人活動 (2013 年より継続中) ・ 児童養護施設シオン園 スーパーバイザー (2015 年 4 月より継続中) ・ 荒尾市子ども・子育て会議委員 (2013 年 11 月より継続中) ・ 菊池市地域福祉計画策定委員 (2020 年 4 月より継続中) ・ 荒尾市ウェルネス拠点施設 PFI 事業等審査委員会委員 (2021 年 10 月より)

	<p>継続中)</p> <ul style="list-style-type: none">・荒尾市男女共同参画審議会委員 (2020年3月まで)・荒尾市総合計画審議会委員 (2020年3月まで)・有明圏域障がい者と共に生きる支援協議会委員 (2018年より2022年)・長洲町障がい者プラン策定委員 (2017年3月まで)・シェアハート (発達障害当事者会) オブザーバー (2017年より継続中)・山鹿市障がい者支援地域福祉セミナー 講師 (2021年12月)・第32回 (2017年度) 熊本県養護協議会新任職員現任訓練 講師・熊本県地域福祉権利擁護事業生活支援員等研修会 (2013年度) 講師・熊本県社会福祉士会 荒玉・山鹿ブロック研修会 (2014年度) 講師・熊本県コロニー協会 職員研修会 講師 (2015年度、2016年度) <p style="text-align: right;">など</p>
--	---